

第17回関東学生研究論文講演会 報告

【報告者】塩見 日隆（千葉大学 融合理工学府）

【日程】2023年3月9日（木）

【参加人数】57名（学生44名、一般13名）

【開催場所】千葉大学西千葉キャンパス工学系総合研究棟2 コンファレンスルーム

【講演】オーラル：11件 ポスター：23件

【報告】

第17回関東学生研究論文講演会が2023年3月9日に千葉大学にて開催された。オーラルセッションでは11件、ポスターセッションでは23件、計34件の発表が行われた。参加者数は、学生44名（うち講演者34名、聴講者10名）、一般13名の、合計57名であり、慶應義塾大学、東京工業大学、電気通信大学、千葉大学、静岡大学、宇都宮大学などからの参加があった。質疑に関して、終始学生からの積極的な質問があり、学生を中心に活発な議論がなされた。今回は3年ぶりの対面開催ということもあり、講演会終了後に懇親会も行い、38名が参加した。

優秀講演賞は、審査規定に基づいて参加教員による投票を実施し、以下の3名に贈呈した。

オーラル発表（1件）

- 安里成海さん（宇都宮大学）「金属セミシエル構造の保護層の形成と光熱変形特性への影響の調査」

ポスター発表（2件）

- 立木透さん（宇都宮大学）「ホログラフィックメモリーにおける偏光多値信号画像のクロストークを利用したシングルショット検出」
- 粕田修平さん（宇都宮大学）「強度輸送方程式を用いた定量位相イメージング」

本講演会を無事開催、終了できたことに関して、ご発表いただいた講演者の皆様や活発にご議論いただいた質問者の皆様をはじめ、ご参加いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。また遠藤先生、角江先生をはじめ、講演会の準備、進行に関してご協力をいただいた情報フォトンクス研究グループの幹事の先生方、および伊藤・下馬場・角江研究室学生各位に御礼申し上げます。